

## 馬めぐり

目安の  
所要時間

120分程度

おすすめ  
展示棟番号

市街地群

(8) (10) (25) (26) 馬車鉄道

農村群

(36) (38) (40)

## 視点

馬は駄送<sup>だそう</sup>や馬力運送<sup>ばりきり</sup>、農耕<sup>のうこう</sup>、冬山造材など地域の生産活動や生活に欠かせない役畜<sup>えきちく</sup>でした。明治から昭和初期にかけては多くの馬が軍馬として戦地に送られました。

馬の飼育<sup>ばひつかいりょう</sup>、売買、馬匹改良など馬に関わる仕事は多岐<sup>たき</sup>にわたり、獣医<sup>じゅうい</sup>や護蹄<sup>ごてい</sup>を担う蹄鉄屋<sup>せり</sup>、馬車・馬櫓<sup>そり</sup>製造業、畜力農機具を製造する鍛冶屋<sup>かじや</sup>なども馬の利用になくてはならない生業<sup>せいごう</sup>でした。

開拓の村の、馬に関する展示をめぐってみましょう。

## 開拓の村の馬車鉄道

開拓の村の馬車鉄道は、1912(大正元)年から1918(同7)年まで札幌市内を運行した「札幌市街軌道」と1911(明治44)年から1918(大正7)年まで運行した「札北馬車軌道」等をモデルとして再現されました。

再現された開拓の村の馬車鉄道の線路の幅(軌間)は762ミリ、旧札幌停車場前から旧ソーケシュオマベツ駅通所前までのおよそ500㍍を約5分ほどかけて走ります。車輻は、車体長さ4.13㍍、幅は1.64㍍、高さ2.44㍍で、日本車両製造株式会社で製造されました。

車内で大正期と異なる点といえば、座席(クッションの有無)と吊り手の形状などで、車体では窓一個分が延長され、定員は座席12名、立席6名計18名という仕様になっています。



## 『春を告げた風物詩～馬糞風～』

雪の下で凍り付いていた馬糞が雪解けとともに姿を現します。カサカサに乾いた馬糞は春の強い風に乗って舞い上がり、住居や店舗の中まで容赦なく吹き込んだそうです。匂いもかなりきつかったようで、人々は息を止めながら歩いたとか。



旧太田装飾所前の馬糞箱



旧浦河支庁庁舎の迎賓馬車

## ⑧旧浦河支庁庁舎

1階には道内の馬車鉄道の変遷<sup>へんせん</sup>について紹介するパネル展示があります。また、1906(明治39)年から札幌の鉄道作業局北海道出張所で使用された後、1921(大正10)年より昭和20年代まで、王子製紙江別工場の工場長や事務長の公務、来客の送迎に使用していた「迎賓馬車<sup>げいひん</sup>」を展示しています。

## ⑩旧開拓使工業局庁舎

開拓使工業局の事業と工業局・物産局が経営した諸工場およびその製品について紹介しており、開拓使が導入・普及を図った「ロシア型馬車<sup>ばそり</sup>」「馬櫓<sup>ばそり</sup>」「プラウ」などを展示しています。



旧開拓使工業局庁舎の馬車・馬櫓

## ⑫旧太田装蹄所

大正末期初冬の設定で、近郊<sup>きんこう</sup>の農夫が連れてきた馬の蹄鉄を夏用から冬用に取り換える様子を人形や効果音によって再現しています。冬用の蹄鉄は、凍った雪道を歩くため先端に爪がついています。

## ⑮旧藤原車櫓製作所

明治後期以降、大抵の市街地に車櫓製作所がありましたが、昭和30年代以降には農耕馬の需要減少と自動車の急増にともない、次々と姿を消していきました。ここでは大正末期の車櫓製作の技術・作業を再現しています。

## ⑰旧山本消防組番屋

消火活動を支えた腕用手押ポンプ<sup>わんよう</sup>の運搬には、雪道でも迅速な移動ができる馬櫓<sup>じんそく</sup>も利用されました。



旧山本消防組番屋の腕用手押ポンプと馬櫓

## ⑲旧ソーケシュオマベツ駅通所

駅通は明治・大正・昭和にかけて北海道に設置された馬の継立所<sup>つぎたて</sup>のことで、荷物の駄送<sup>だそう</sup>や乗用に馬を取り替えながら移動する拠点となりました。郵便・宿泊などの業務も行い、発展途上の北海道開拓に大きな役割を果たしました。

## ⑳旧農商務省滝川種羊場機械庫

野外には、明治末期から普及したとされる「傘型畜力機<sup>かさがたちくりよくき</sup>」が再現されています。牛馬の歩行を回転動力に変換する装置<sup>そうち</sup>で、この動力を脱穀<sup>だっく</sup>や粉摺<sup>もみすり</sup>などに利用しました。また、展示棟内には様々な畜力農機具が展示されており、パネル展示では手耕<sup>しゅこう</sup>から馬を中心とした畜耕<sup>ちゅうこう</sup>そして機械化へと進んだ北海道の農業技術の発達について紹介しています。

### 番外編

屋内に入ると流れる会話に馬や馬櫓に関連する音や話を聞くことができます。

- ⑮旧山本理髪店
- ⑲旧近藤染舗
- ⑳旧武岡商店